

台湾・高雄市の国立鳳山高級商工職業学校の高校生18人が5月31日、室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、247人)を訪れ、生徒同士が北京語と英語、日本語とジェスチャーで心を通わせた。

18人は日本の修学旅行に当たる訪日教育旅行の一環で来道。渡航先にある学校として同校を訪問した。一行はまず海星学院高の授業を見学。生徒同士一対一での交流や、事前に室工大の留学生に教わっていた海星の生徒は北京語のあいさつを生かして自己紹介やゲームを楽しんだ。

## 室蘭・海星学院 交流深める

握手。世界で文化が違つことが分かりました」とスピーチし歓迎。台湾の高校生を代表して黄景筠さん(18)は流ちょうな日本語で「みなさんの歓迎がうれしい。交流が宝になりますように。台湾にも来てください」とお礼の言葉を述べた。

台湾仕込みのダンスステージでは大きな歓声が上がリ、両校校長が記念品を交換。交流した生徒一人一人に記念Tシャツが手渡され記念撮影では笑顔が広がり、名残を惜しんだ。

一行は今月4日まで5泊6日の日程で道内を観光。昭和新山、洞爺湖温泉のほか小樽、札幌、旭山動物園などを巡る。同校には昨年台湾の高校生21人が訪れている。(栗島暁浩)

## 台湾の高校生ようこそ



海星学院高の生徒と交流を深める台湾の高校生ら